

## 新聞を読んで考えよう

- NIE 週間にちなんで -

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきましてありがとうございます。

11 月 12 日から明日 18 日までにはどんな週間かご存知でしょうか。これは、「新聞を教育に( Newspaper In Education )」、新聞を教育に活用しようという運動週間です。今その最中ですので、今日はぜひ、新聞を教育に活用していただきたいというお話をさせていただきます。

### 2. 新聞を読んで考えよう - NIE週間にちなんで -

(1)ご存知のように、日本の新聞は朝刊も夕刊も各家庭に配達されるという素晴らしいサービスがあります。他の国に行きますと、新聞を手に入れるのは大変です。家庭まで配達される国は本当に少ないように思います。まして、朝刊は朝 6 時くらいまでに届き、夕刊も夕方 4 時から 5 時くらいまでに届けてくれる国は、本当にめずらしいと思います。新聞の内容ですが、他の国ではタブロイド紙といって非常にスキャンダラスなことが書いてあるような新聞が多くの人に読まれています。しかし、日本のようにまじめな記事が紙面のほとんどを占めるような新聞を国民の大部分の方が毎朝、毎夕読むような国は非常にめずらしいです。日本の新聞の文化は、世界でも最高レベルではないかと思えます。

(2)このような素晴らしい新聞が雨の日も、風の日も、雪の日も、毎日家庭や職場に確実に届く日本ですから、ぜひ新聞を教育に活かしたらよいのではないかと思います。では、どのように教育に役立てるかといいますと、放送をお聴きの学生の皆さんもぜひ考えていただきたいのですが、大人の方、保護者の方で子どもにもっと学力をつけてもらいたい、この子をどのように育てていこうかとお考えの皆さんは、新聞を使って大人である自分自身も勉強する、同時に、新聞を上手に活用して子どもも教育するというようにお考えいただければと思います。

(3)私の基本的な考えは、小学生は 1 日 20 分、中学生は 1 日 40 分、高校生は 1 日 1 時間以上、新聞を一面からじっくり読んで、世の中のこと、地域のこと、自分自身のことを考えようということです。小学生は 20 分、中学生は 40 分、高校生は 1 時間以上新聞を一面(一番前のページ)からゆっくり読んで、世の中はどのようになっているのか、自分自身はどのようにしたらよいかなどについて新聞を読んで考える。そうすると、世の中のことがわかる良い勉強になります。また、自分自身を世の中に活かす良い勉強になります。ですから、ぜひ新聞を活用していただきたいと

思います。

- (4)一番読んでいただきたいのは、前の日や当日の大事なことが書かれている一面でしたら、一番下にある論説といえますかコラムです。朝日新聞は「天声人語」、毎日新聞は「余録」、読売新聞は「編集手帳」、サンケイ新聞は「サンケイ抄」という形で、各新聞社で一番文章の上手な方、世の中のことをよく考えている方が書いています。新聞社によっては2～3名で書いているところもありますが、一人ですっと何年間も書き続けているものもあります。
- (5)繰り返しますが、新聞の一面の下の方に載っているコラムは、その新聞社で最も筆の立つ知識も豊富な方が書いていますので、ぜひ読んでいただきたいと思います。勉強に役立てたいのであれば、気に入ったコラムだけでよいですから、コラムを切り取ってノートなどに貼り、ここぞと思うところに線を引く。そして、できればどのような題にしたらいいかを考えて題を付けていただきたいと思います。
- (6)新聞を広げると、二面あるいは三面には社説が載っています。社説は、その新聞社の意見です。さまざまなことがらについて、どのように考えたらよいか考え方を示したもので、1つの意見としては素晴らしいものです。
- (7)ただ、社説は、大切と思われるテーマについてあくまでもその新聞社の意見ですから、すべてが正しいとは限りません。このことについて新聞社はこのように考えていますので、皆さんも一緒に考えましょうという形で書いてあるのが社説ですので、1つの大切な意見としてじっくり読んでいただければと思います。同じ新聞を何年も、何十年もずっと読んでいると、新聞社と同じような考えになってしまいがちですし、また、世の中には異なった考えもあるかもしれませんから、時々別の新聞社の新聞、特に社説を読むのも大事ではないかと思います。
- (8)それから、政治欄も読んでいただきたいと思います。これから先、自由民主党はどのような考えを持って政権の運用をするのか。それに対して民主党の小沢さんたちはどのようなことをやろうとしているのか。いろいろな政党があるが、それらの政党の方々はどのような考えを持って世界や日本、地域の発展を考えているのか。国や地方の予算をどう配分するのか。政治というのは、限られた税金を配分するしくみをどのようにつくるかということでもあります。最終的には、どんな国や自治体をつくるのかということになります。ですから、政治欄を読むことは、毎日毎日の我々の生活にも役に立つのです。
- (9)それから、新聞には経済についての欄、国際社会に関する欄、家庭欄、スポーツ欄などいろいろな欄があって、社会欄には世の中のいろいろな出来事が載っています。1つの新聞にはどのようなことが書かれてあるのかをおおざっぱに頭に入れ、自分の気に入ったところだけでなく、時々違うところにも目を向けることをおすすめします。健康欄や読書のページ、いろいろな本が紹介されているところなどを読んでいただきたいと思います。

(10)また、TV やラジオ番組欄も上手に活用し、自分のライフスタイルに合った番組を選ぶことも大切です。日本の TV やラジオの教育番組は、世界で最も優れたものです。NHK 教育 TV、NHK ラジオ第 2 放送、TV と FM ラジオによる放送大学の番組欄を注意深く研究し、自分にとって必要な番組を積極的に視聴することをおすすめいたします。

### 3 . おわりに

(1)このようにしていろいろなところを勉強していただくことが、子どもたちにとっても大人にとっても非常に役に立つと思いますので、是非新聞を教育に活用していただきたいと思います

(2)今日は、11 月 12 日から 18 日までが「新聞を教育に(NIE)運動週間」でしたので、それについてお話をさせていただきました。できれば、気に入った記事を切り抜いて貼り付ける新聞記事の「切り抜きノート」を作っていたいただければ素晴らしいと思います。

- 2008 年 9 月 17 日加筆 -